

# 第1回

## 日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム PEPNet-Japan

近年聞こえない学生を受け入れ、ノートテイクをはじめとするさまざまな支援を行う高等教育機関が急増しています。しかし、聴覚障害学生の支援には多くの知識とノウハウが必要で、一般の大学・短期大学ではこうした情報が思うように得られず支援が進まない状況にあります。

このような現状を打開し、聴覚障害学生支援のためのノウハウ蓄積と情報発信を行うため、昨年10月筑波技術短期大学の呼びかけで、聴覚障害学生の受け入れに先駆的な取り組みを行ってきた13大学・機関による「日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)」が結成されました。本シンポジウムでは、PEPNet-Japanの1年間の活動の成果を報告し、この支援ネットワークをより多くの大学・短期大学に広げていくための基盤づくりを行うとともに、聴覚障害学生支援先進国のアメリカの中でも最大規模の支援体制を誇るロチェスター工科大学の取り組みと、利用者としての聴覚障害学生自身によるわが国の取り組みの評価をもとに、今後私たちの大学・短期大学が進むべき方向について学ぶことができると思います。

聴覚障害学生支援がすべての大学・短期大学においてスタンダードとなるよう、一人でも多くの方々のご出席をお待ちしております。

日時：2005年10月8日(土)10:00～17:00

会場：筑波技術短期大学天久保キャンパス講堂  
(茨城県つくば市天久保 4-3-15)

< 第1部 > 10:00～11:45 懇談会

聴覚障害学生、大学教職員、情報保障者の3部会によるディスカッション  
～各大学の取り組みや現在抱えている問題・課題等～

< 昼食 > 11:45～13:00

< 第2部 > 13:00～17:00 全体会

PEPNet-Japan 設立趣旨説明

講演会 「ロチェスター工科大学における聴覚障害学生支援(仮)」

国立聾工科大学(NTID)PEN-International 代表 James J. DeCaro 教授

パネルディスカッション 「利用者から発信する情報保障のあり方」

～聴覚障害学生から見た障害学生支援システム～

～これからの聴覚障害学生支援のあり方～

主催：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)  
筑波技術短期大学

 日本財団 助成事業  
The Nippon Foundation

実行委員：根本匡文・小林正幸・石原保志・三好茂樹・中瀬浩一・河野純大・白澤麻弓(筑波技術短期大学)、松崎文(宮城県・仙台市聴覚障害学生情報保障支援センター)、倉谷慶子・吉川あゆみ・中島亜紀子・清水里奈(関東聴覚障害学生サポートセンター)、広瀬洋子・大倉孝昭(メディア教育開発センター)、金澤貴之(群馬大学)、伊藤聡知(東京大学)、太田晴康(静岡福祉大学)、都築繁幸・岩田吉生(愛知教育大学)、大泉溥(日本福祉大学)、土橋恵美子(同志社大学)、田中芳則(広島大学)、高橋信雄・原田美藤(愛媛大学)、太田富雄(福岡教育大学)

お問い合わせ：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)事務局

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-3-15

筑波技術短期大学障害者高等教育センター

聴覚・視覚障害学生の大学教育に関する相談・支援室 聴覚系 WG 内

<http://www.a.tsukuba-tech.ac.jp/ce/personal/shirasawa/file/introduction.htm>

TEL/FAX 029-858-9429

担当：白澤 麻弓(筑波技術短期大学障害者高等教育センター助手)

PEPNet-Japan は、日本財団の助成による PEN-International(本部：アメリカロチェスター工科大学 NTID 内)の事業の一部です。